

2013年3月期 第2四半期決算に関する主な質問

2012年12月3日

セガサミーホールディングス株式会社

2013年3月期 第2四半期実績

■全体について

Q: 前年同期(2012年3月期 第2四半期)と比較して、減収、減益となった要因は？

A: 主に市場環境の影響を受け、パチンコ機の販売台数が減少したことにより、遊技機事業の売上、利益が前年同期を下回ったため、減収、減益となりました。

Q: 期初計画に対して、売上が大幅に下回ったにも関わらず、営業利益が上回っている要因は？

A: 期初計画に対して、コンシューマ事業におけるパッケージ販売が堅調に推移したものの、販売スケジュールの見直しによるパチスロ販売台数の減少及び市場環境の影響を受けてパチンコ販売台数が減少したことを要因として、売上は計画を下回りました。一方、営業利益につきましては、研究開発費並びに広告宣伝費等の計上時期が下期に先送りとなったことから計画を上回りました。

Q: 韓国における複合リゾート施設事業の進捗は？

A: 韓国 Paradise Group との合併会社である Paradise Sega Sammy は7月に設立されております。今後は、2016年の開業に向けて具体的な協議を行ってまいります。現状の見込みでは、本件事業の総投資規模は約8,000億ウオンを予定しており、そのうち当社が投資する額としては約1,400億ウオンを予定しております。

■遊技機事業について

Q: 前年同期(2012年3月期 第2四半期)と比較して、減収、減益となった要因は？

A: 主に市場環境の影響を受け、パチンコタイトルの販売台数が減少したことにより、減収、減益となりました。

Q: 期初計画に対して、利益率が大きく改善している要因は？

A: 一部製品における販売スケジュールの見直しにより、広告宣伝費などの販売関連費用が減少したため、利益率が改善いたしました。

■アミューズメント機器事業について

Q: 前年同期(2012年3月期 第2四半期)と比較して、売上高は横ばいながらも、減益となった要因は？

A: 新規の大型タイトルの販売等利益率の高い製品の販売が無かったため、前年同期比では減益となりました。

Q: 期初計画に対して、利益率が大きく改善している要因は？

A: 研究開発費等の費用の計上時期が、下期に移ったことから、期初計画に対して利益率が改善いたしました。

■アミューズメント施設事業について

Q: 前年同期(2012年3月期 第2四半期)と比較して、減収・減益となった要因は？

A: 店舗数の減少及びセガ国内既存店売上高が前年同期を下回ったことにより、減収・減益となりました。

■コンシューマ事業について

Q: 前年同期(2012年3月期 第2四半期)と比較して、増収、損失縮小となった要因は？

A: パッケージ分野において、前期に発売したタイトルのリピート販売及びディストリビューションタイトルの販売が堅調に推移し、また、デジタル分野において、『ファンタースターオンライン2』の稼働が好調に推移したほか、欧米における構造改革を進めた結果、増収・損失幅縮小となりました。

Q: デジタルゲーム分野における主な実績は？

A: 前々期にサービスを開始した、『Kingdom Conquest』において、累計ダウンロード数が300万ダウンロードを突破するなど、本格的な展開を行っております。また、第2四半期にサービスを開始した『ファンタースターオンライン2』は累計登録者数100万人を突破し、常時接続数60,000を超えるなど、非常に好調に推移しております。

2013年3月期 通期見通し

■全体について

Q: 通期の業績予想を修正しない理由は？

A: 第2四半期までは、概ね堅調に推移しておりますが、通期業績予想につきましては、下期における主力製品の販売動向を見極め、修正の必要がある場合には速やかに公表いたします。

Q: 通期計画は、下期の比重が大きいですが、大型タイトルの投入計画等はあるのか？

A: 遊技機事業及びコンシューマ事業において、下期に複数の大型・主力タイトルを投入する計画となっております。

■遊技機事業について

Q: 下期に販売する主なタイトルは？

A: パチスロでは、サミー『パチスロ 攻殻機動隊S.A.C.』をはじめとした、複数の大型タイトルの販売を計画しております。また、パチンコにおいてはサミー『ぱちんこ CR 神獣王』等の主力タイトルを販売してまいります。

■アミューズメント機器事業について

Q: 下期に販売する主なタイトルは？

A: 今期は大型タイトルの販売を計画しておりませんが、『戦国大戦』及び『頭文字 D ARCADE STAGE 6 AA』等、複数タイトルのCVTキットの投入を計画しております。

■アミューズメント施設事業について

Q: 通期におけるセガ国内既存店舗売上計画は？

A: 前年同期比99.0%で計画しております。

Q: セガ既存店売上高の通期計画は達成可能か？

A: 厳しい市場環境の中で、運営力の強化を図り、収益の改善を図ってまいります。

■コンシューマ事業について

Q: 期初計画に対して、上期では大幅に上回っているが、通期の見通しは？

A: 上期の進捗は好調に推移しておりますが、下期においては、パッケージ分野において大型タイトルの販売を計画しており、また、デジタル分野においても『Kingdom Conquest II』をはじめとした主力タイトルを複数投入する予定であることから、これらのタイトルの動向を見極める必要があります。

以上

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。